

(のり) 空き家率最高

13.5%

の記事を読んで

新湊高等学校

一年

川島

志保

私が、この記事を選んだ理由は二つある。一つ目は、消費税が二段階に増税され、親族から資金面での提供が有利になった。これにより家を新築する人が増えた。このことから、家が増えたなと実感する。それが古くなっているのだろうと思、だからである。二つ目は、以前住んでいた祖母の家を十三年間空き家にしていた。それを今年の六月に解体したばかりだ。た。そして、空き家が全国で大きく問題になっていることを知り、今の日本で空き家が人口減、高齢化と深く関係していることが、空き家についても、と学び考えを深めたいと思、だからである。

全国の空き家率は過去最高の13.5%である。富山県の平成二十五年の総世帯の、約1.6  
た。この数字を見てもあまりピンとこなかつたが、五年前の調査から63万戸増加してい

(のり) 20 (のり) 15 (のり) 10 (のり) 5 (2/3)

倍の空き家がごきたことに驚いた。空き家が増えることで、大きな問題が出てくる。治安や防犯面についてである。テレビで痛みの激しい空き家が解体されていたのを見た。理由は、通学路の方へ傾いて危険だからである。また、老朽化が進み屋根が落ち、他人に怪我をさせてしまふ場合、賠償責任が出てくる。防犯面では放火されたり、犯罪に使われたりする可能性がある。私の町内の空き地は、昔空き家だ。た所で、放火の被害に遭ったと聞いたことがある。自分の身近な所で犯罪が起きていたことは、人事として考えられない。

以前住んでいた家は、古い箇所で築六十六年が経ていて。増築や改築を繰り返していくたが、痛みが進み困っていたところ、条件に合えば解体の時に中から補助金が出ることを知った。問い合わせて審査すると、解体することが決まった。私の祖母は白風の季節になると、屋根が飛んでいき、他人が怪我をすることをいつも心配していた。無事に解体でき

(のり) て良か、た、と言、こいた。

(3/3)

私は多くの人が空き家を解体したいのでは  
ないかと考え、解体の長所と短所について調べ  
てみた。長所は災害のリスクを減らせる、  
近隣住民への迷惑を防げる、敷地を有効活用  
できることである。短所は解体費用がかかる、  
土地の固定資産税が高くなる等である。短所  
について解体費用がかかるが、これは家を建  
てた時から分かっている。だから、家を建  
てる時は解体のことも考える必要があると思  
う。私は空き家の解体は、短所よりも長所の  
方が大きいと思つ。

空き家に付して全国や市町村では、空き家  
バンクを作、て空き家の賃貸、売却をスムー  
ズに行えるよな対策をとっている。また、  
解体の時に補助金を出す自治体も増えている。  
一定の効果はあるが、増えていく空き家に対  
してさらなる対策が必要であると思う。空き  
家の管理や解体は労力や多額の資金がかかる  
ため、とても難しい問題だと思った。

# 空き家率

# 最高 13.5% %

人口減、高齢化で

63万戸増の820万戸

総務省は29日、2013年の住宅・土地統計調査の結果を発表した。全国の空き家数は過去最高の820万戸（マンションなどの共同住宅の一室も含む）で、5年前の前回調査から63万戸（8.3%）増加し、総住宅数に占める割合（空き家率）も13.5%に増えた。

空き家は高齢化や人口減少などに伴って増え続けており、治安や防災面から社会問題化している。東日本大震災の影響を受けて転居した世帯数は33万世帯だった。

△関連記事3面▽

者の行動を許すことにもなるため、政府・与党も対策を検討している。

震災で転居した33万世帯のうち、40.5%（13万3000世帯）が「住宅に住めなくなつた」ことを理由に挙げた。都道府県別では、宮城、福島、岩手の順に多く、被災3県で85%（11万3000世帯）を占めた。

宮城県は前回比1.41万戸（6.8%）増の61.9%だった。

太陽光発電を備えた住宅は157万戸で、前回の52万戸から約3倍に増加した。手すりなど高齢者向け

抽出調査を基に推計した日本全体の総住宅数は前回比305万戸（5.3%）増の6063万戸だった。

東日本大震災で「住宅に住めなくなったため転居した世帯数の上位5都県（世帯）

1	宮城県	5万3000
2	福島県	4万
3	岩手県	2万
4	茨城県	8000
5	東京都	4000

に占める割合は同0.7%増の42.4%にのぼった。都道府県別では東京都が最も多く、住宅の70%が共同住宅だった。持ち家住宅数は前回比1.92万戸（6.3%）増の3224万戸で、持ち家率は同0.8%増の61.9%だった。

配慮した設備のある住宅は55万戸で、住宅全体の5.9%を占めた。



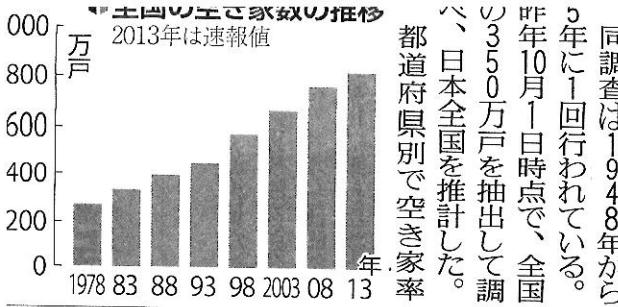
言葉の始まり物語

新聞も、スマホも。

読売プレミアム

ニュースや特典が満載

YOMIURI PREMIUM



同調査は1948年から5年に1回行われている。昨年10月1日時点での全国の空き家数は過去最高の820万戸（マンションなどの共同住宅の一室も含む）で、5年前の前回調査から63万戸（8.3%）増加し、総住宅数に占める割合（空き家率）も13.5%に増えた。

空き家は高齢化や人口減少などに伴って増え続けており、治安や防災面から社会問題化している。東日本大震災の影響を受けて転居した世帯数は33万世帯だった。

## 震災で転居33万世帯

（別荘など二次的住宅を除く）が最も高かったのは山梨県（17.2%）で、愛媛（16.9%）、高知（16.8%）が続いた。

反対に最も低かったのは宮城県の9.1%で、前回比で4.1%も減少した。宮城県の空き家率が大幅に改善した理由について、総務省は「被災者用の住宅として、アパートなどの空き室を活用したため」と分析している。空き家は、倒壊につながるといった危険性

（うらわいよし）、（うけこころく）